

様式 C - 7 - 1

令和3年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書（研究実績報告書）

| | | | | |
|----------|----|-------------|------|-----------|
| 所属研究機関名称 | | 東京外国語大学 | 機関番号 | 1 2 6 0 3 |
| 研究代表者 | 部局 | 大学院総合国際学研究院 | | |
| | 職 | 教授 | | |
| | 氏名 | 川口 裕司 | | |

1. 研究種目名 基盤研究(B)(一般) 2. 課題番号 20H012793. 研究課題名 言語変異に基づくフランス語、日本語、トルコ語の対照中間言語分析4. 研究期間 令和2年度～令和5年度 5. 領域番号・区分 -

6. 研究実績の概要

フランス語班では、秋廣、杉山、近藤、矢頭、川口、Deteyが以下の研究を実施した。統語レベルの研究として、収集した学習者の談話標識の分析を行った。音声レベルでは、フランス語教科書におけるリエゾンと音の脱落を分析した。また学習者50名の繰り返しと朗読タスクにおける発音変異について分析を行い、石川に数量解析について補助を得ながら、分析結果を学会発表した。語彙レベルでは、FLELex、CEFRLexを用いて、スピーキングの使用語彙レベルを分析した。また日本人学習者が自由談話タスクで用いる語彙や表現の特徴を分析し、母語話者と対照分析し結果を学会発表した。社会言語学的研究としては、近藤と矢頭がケベック・フランス語の教授規範、ケベックの言語選択等について研究した。

日本語班では阿部と川口が、繰り返しと朗読タスクにみられるアクセント配置の現象を分析し、中国人学習者とフランス人学習者の特徴について考察し、分析結果を学会発表した。

トルコ語班では、ゲント大学の研究者と共同研究を行い、トルコ語母語話者の話しことばコーパスの単語頻度調査を実施した。また2021年度にオンラインで収集した学習者言語データのうち、自由会話の文字転写に着手した。年度末にはトルコ社会科学大学の研究者からも研究協力を得られることになり、今後の共同プロジェクト等について相談した。

コーパス解析班では、石川が本科研の研究会で学習者コーパスデータを用いた中間言語対照分析について講演を行った。また報告された複数の分析について、コーパスの数量解析の観点から助言を行った。矢頭も本科研研究会で、世界で使用される英語の多様性について社会言語学的観点から講演を行った。梅野は学習者コーパスサイトの管理を行い、同時にAIによる文字化の精度に関する調査を行い、本科研研究会で報告した。

7. キーワード

対照中間言語分析 第2言語習得 言語変異

8. 現在までの進捗状況

区分 (2) おおむね順調に進展している。

理由

ただしマルチタスク調査は対面による実施が不可能であったため、若干のオンライン調査を行って対応した。

1 版

9. 今後の研究の推進方策

各班の研究はこのまま継続するが、2022年度は可能なかぎりマルチタスク調査を対面あるいはオンラインで実施する予定である。また年度後半からは海外研究者の招聘と講演・ワークショップも企画したい。

10. 研究発表（令和3年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 5件 / うち国際共著論文 0件 / うちオープンアクセス 0件）

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 秋廣尚恵 | 4. 巻 55 |
| 2. 論文標題 会話における du coup の用法の広がり | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 フランス語学研究 | 6. 最初と最後の頁 67,74 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |
| 1. 著者名 寺田雄輝, 杉山香織 | 4. 巻 24 |
| 2. 論文標題 日本人フランス語学習者の音読における流暢さの測定 - 時間的尺度の観点から - | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 外国語教育研究 | 6. 最初と最後の頁 23,41 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |
| 1. 著者名 杉山香織 | 4. 巻 24 |
| 2. 論文標題 受容語彙知識に基づく読解得点予測の可能性 - A2レベルのフランス語学習者を対象に | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 外国語教育研究 | 6. 最初と最後の頁 42,60 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 鈴木拓真, 中川亮, 川口裕司 | 4. 巻 54 |
| 2. 論文標題 フランス語不定代名詞onの諸用法と通時的考察 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 ロマンス語研究 | 6. 最初と最後の頁 7, 16 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|------------------------|
| 1. 著者名 川口裕司, 伊藤玲子, 清宮貴雅, 大河原香穂 | 4. 巻 1 |
| 2. 論文標題 研究動向 フランス地理言語学と言語地図: 誕生から現状まで | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 地理言語学研究 | 6. 最初と最後の頁 146, 163 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計8件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件)

| |
|---|
| 1. 発表者名 布村 猛, 阿部 新, 川口 裕司 |
| 2. 発表標題 L2日本語における単語アクセント産出の多様性にまつわる検討 日本語学習者音声中間言語コーパスを用いた分析 |
| 3. 学会等名 外国語教育学会第25回大会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 近藤野里 |
| 2. 発表標題 縦断的な発話データを用いたフランス語学習者によるリエゾンの習得の分析 |
| 3. 学会等名 外国語教育学会第25回大会 |
| 4. 発表年 2021年 |

1 版

| |
|---|
| 1. 発表者名 杉山香織, 大山大樹, 茂木良治, 姫田麻利子 |
| 2. 発表標題 教室の再発見: 知識の伝達または共同構築の空間としての教室とWeb会議室 |
| 3. 学会等名 日本フランス語教育学会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---------------------------------------|
| 1. 発表者名 杉山香織 |
| 2. 発表標題 フランス語 A2 レベルの読解得点と語彙知識との関係 |
| 3. 学会等名 外国語教育学会第25回大会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 矢頭典枝 |
| 2. 発表標題 ケベック・フランス語の包括書法: 職業名詞等の女性形化と通性的な書き方 |
| 3. 学会等名 日本フランス語フランス文学学会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--------------------------------------|
| 1. 発表者名 伊藤玲子, 川口裕司 |
| 2. 発表標題 日本語を母語とするフランス語学習者50人の発音特徴 |
| 3. 学会等名 外国語教育学会第25回大会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 バルカ・コランタン, 川口裕司, ドゥテ・シルヴァン |
| 2. 発表標題 日本人フランス語学習者の話し言葉の分析: 頻度の高い語彙とコロケーション |
| 3. 学会等名 外国語教育学会第25回大会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 梅野毅 |
| 2. 発表標題 AIによるトルコ語のテキスト読み上げと自由会話の音声認識 トルコ語母語話者と日本語母語話者の場合 |
| 3. 学会等名 言語変異に基づくフランス語、日本語、トルコ語の対照中間言語分析 科研B第二回研究会 |
| 4. 発表年 2021年 |

〔図書〕 計5件

| | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 川口裕司, 庄司博史ほか | 4. 発行年 2022年 |
| 2. 出版社 丸善 | 5. 総ページ数 430 |
| 3. 書名 世界の公用語事典 | |

| | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 川口裕司, 神山剛樹, 関敦彦 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 駿河台出版社 | 5. 総ページ数 228 |
| 3. 書名 仏検準1級準拠 頻度順フランス語単語集 | |

1 版

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Detey Sylvain, Durand Jacques et al. | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 De Boeck | 5. 総ページ数 432 |
| 3. 書名 Introduction a l'acquisition des langues etrangeres | |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Chamot Mathilde, Racine Isabelle, Regan Vera, Detey Sylvain, Kondo Nori et al. | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 Narr Verlag | 5. 総ページ数 747 |
| 3. 書名 La prononciation du francais langue etrangere : perspectives linguistiques et didactiques | |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Ishikawa Shin'ichiro, Mieder Wolfgang, Miller Julia Miller et al. | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 University of Bialystok Publishing House | 5. 総ページ数 540 |
| 3. 書名 Intercontinental Dialogue on Phraseology 4: Reproducible language units from an interdisciplinary perspective | |

1 1 . 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件 (うち出願0件 / うち取得0件)

1 2 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

1 3 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

1 4 . 備考

言語変異に基づくフランス語、日本語、トルコ語の対照中間言語分析
<https://www.tufs.ac.jp/ts/personal/ykawa/index.php?id=428>
フランス語、ポルトガル語、日本語、トルコ語の対照中間言語分析（アクセス制限有）
<http://www.coelang.tufs.ac.jp/interlang/>

提出確認用